



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4601		
科目名	コーチング統合演習 I		
担当教員	益子 俊志		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 4		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシー（D P）との関連 DP3－G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に 対応することができる。 DP3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排 除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 DP4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対す る答・結論・判断を合理的に導くために、 論拠の収集と分析を体系的に行うととも に、オープンエンドな問題・課題に答える ための方略をデザインし、検証し実行する ことができる。 DP4－I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、 情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効 かつ円滑に行い、課題の解決につなげるこ とができる。 DP5－J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続し て行うこと を、自らの思考及び行動のパ ターンとするとともに、既存のアイデアを 革新的かつ創造的に統合し、リスクをとり ながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 G1 状況把握（40％） F1 探求と論拠（20％） F2 課題解決（20％） H1 論理的思考（5％） H2 批判的思考（5％） I1 理解分析と読解（5％） J1 継続的学修基盤（5％）		
教員の実務経験	大学、社会人チームにラグビーを指導してきました。この経験を活かして、演習を行います。（第1回～第13回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	コーチング学研究法演習、コーチング基礎演習 I～II の成果を踏まえ、自分の専門種目について、競技特性に応じたコーチング理論を学び、コーチとして指導現場で活動するための応用的な考え方や、パフォーマンスを獲得する為のコーチング技術及び能力を身に付けることを具体的に実践します。また、個人やチームのマネジメントを実践でかつようできる能力を身に付けることを学びます。他に、選手とのコミュニケーション能力や、選手の動きの観察・分析の応力、さらには創意工夫のある独創的なコーチング方法の提案も行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：指導現場、コーチング		

授業の趣旨	■副題 実際の指導現場に必要なコーチング能力について、具体的な例を提示しながら自身の考えをまとめ、発表・討論します。 ■授業の目的 指導現場に必要な能力について、自身の考えをまとめ、発表・討論することにより、問題に対する解決方法を提示する能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツ現場において、競技力向上を図るためには、コーチング能力の向上が必要不可欠です。現代のコーチに必要な能力を整理すると共に、具体的な実例を持ち寄り、建設的な議論をすることで、より良いコーチとなるために必要な能力を検討します。	
総合到達目標	■コーチング能力の向上を図るために、実際の指導現場に必要なコーチング能力を認識し、分析することで、良いコーチ像を論ずることができる能力を修得する。 ・コーチに必要な能力について列挙することができる（第2回～第3回、第14回～第15回） ・コーチに必要なコミュニケーション能力について論理的に説明することができる（第4回～第5回） ・コーチに必要な観察・分析能力について論理的に説明することができる（第6回～第7回） ・コーチに必要な創意工夫能力について論理的に説明することができる（第8回～第9回） ・コーチに必要なチームマネジメント能力について論理的に説明することができる（第10回～第11回） ・現代のコーチに必要な能力について論理的に説明することができる（第12回～第13回）	
成績評価方法	■レポート1回（40%）：適用ルーブリック H1・I1・J1・J2 （評価の観点）授業の内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるかを評価します。（フィードバックの方法）授業時間中に解説を行います。 ■リアクションシート（60%）：適用ルーブリック G1・F2 （評価の観点）授業内で実施する授業シート、及びリアクションシートの内容により授業内容を把握し、建設的な議論ができているかを評価します。（フィードバックの方法）授業時間中に解説を行います。	
履修条件	「コーチング基礎演習Ⅰ」「コーチング基礎演習Ⅱ」「コーチング実践演習Ⅰ」「コーチング実践演習Ⅱ」を履修していること。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のテーマ、内容、スケジュール、評価方法について説明の上、コーチングに関する問題の例を挙げて授業の準備を行う（G1）。担当教員の実務経験を踏まえて、コーチングの実例を講義します。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業展開に備える。 ④復習（120分） 指導現場に必要なコーチング能力を考える。
	2	①授業テーマ 実際のコーチング例 ②授業概要 実際の現場のコーチング例を学び、コーチングする際に必要な能力を列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、コーチングの実例を講義します。 ③予習（120分） コーチングに必要な能力を調べておく。 ④復習（120分） 授業内で学んだコーチとして必要な能力について、他の種目でも応用できるか考える。
	3	①授業テーマ 良いコーチングとは ②授業概要 自身が受けてきたコーチングを発表し、特にいい点について何が良かったかを論理的に発表できる。また、発表内容から良いコーチングの共通点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関連する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 自身が受けてきたコーチングについて、良い点を列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について共通点を見つけておく。
	4	①授業テーマ コーチに必要なコミュニケーション能力とは① ②授業概要 自身が受けてきたコーチとのコミュニケーションの中でいいパフォーマンスに結びついたと思うコミュニケーション内容を論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要なコミュニケーション能力の共通点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関連する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 自身が受けてきたコーチとのコミュニケーションについて、良い点を列挙しておく。

	④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、共通点を説明できるようにしておく。
5	①授業テーマ コーチに必要なコミュニケーション能力とは② ②授業概要 第4回の授業であげたコーチとして必要なコミュニケーション能力について、実際に実行できている状況を共有し、更なるコーチとして必要な能力を挙げることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 第4回の授業内で列挙されたコーチに必要なコミュニケーション能力について、実施できいるコーチを本などで調べてくる。 ④復習（１２０分） コーチに必要なコミュニケーション能力をまとめておく。
6	①授業テーマ コーチに必要な観察・分析能力とは① ②授業概要 自身が受けてきたコーチングの中でいいパフォーマンスに結びついたと思うコーチの観察・分析能力を論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要な観察・分析能力を列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関連する実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 自身が受けてきたコーチングの中で、コーチの観察・分析能力を列挙しておく。 ④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、共通点を説明できるようにしておく。
7	①授業テーマ コーチに必要な観察・分析能力とは② ②授業概要 第6回の授業であげたコーチとして必要な観察・分析能力について、実際に実行できている状況を共有し、更なるコーチとして必要な能力を挙げることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。 ③予習（１２０分） 第6回の授業内で列挙されたコーチに必要な観察・分析能力について、実施できいるコーチを本などで調べてくる。担当教員の実務経験を踏まえて、実例を紹介します。 ④復習（１２０分） コーチに必要な観察・分析能力をまとめておく。
8	①授業テーマ コーチに必要な創意工夫能力とは① ②授業概要 自身が受けてきたコーチングの中でいいパフォーマンスに結びついたと思うコーチの創意工夫能力を論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要な観察・分析能力を列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関連する実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 自身が受けてきたコーチングの中で、コーチの創意工夫能力を列挙しておく。 ④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、共通点を説明できるようにしておく。
9	①授業テーマ コーチに必要な創意工夫能力とは② ②授業概要 第10回の授業であげたコーチとして必要な創意工夫能力について、実際に実行できている状況を共有し、更なるコーチとして必要な能力を挙げることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。 ③予習（１２０分） 第10回の授業内で列挙されたコーチに必要な創意工夫能力について、実施できいるコーチを本などで調べてくる。担当教員の実務経験を踏まえて、実例を紹介します。 ④復習（１２０分） コーチに必要な観察・分析能力をまとめておく。
10	①授業テーマ コーチに必要なチームマネジメント能力とは① ②授業概要 自身が所属していたチームにおいて、いいパフォーマンスに結びついたと思う、コーチが実践していたチームマネジメントについて論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要なチームマネジメント能力について列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関連する実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 自身が所属していたチームにおけるチームマネジメント内容を把握しておく。 ④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、共通点を説明できるようにしておく。
11	①授業テーマ コーチに必要なチームマネジメント能力とは② ②授業概要 第8回の授業であげたコーチとして必要なチームマネジメント能力について、実際に実行できている状況を共有し、更なるコーチとして必要な能力を挙げることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 第8回の授業内で列挙されたコーチに必要な観察・分析能力について

	て、実施できいるコーチを本などで調べてくる。 ④復習（１２０分）　コーチに必要なチームマネジメント能力をまとめておく。 12 ①授業テーマ　現代のコーチに必要な能力とは① ②授業概要　これまでの授業内容を受け、現代のコーチにおいて必要な能力を例をあげながら論理的に発表できる。また、発表内容から共通点を説明できる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関連する実例を紹介します。 ③予習（１２０分）　現代のコーチに必要なと思われる能力を列挙しておく。 ④復習（１２０分）　授業内で発表された内容について、共通点を説明できるようにしておく。 13 ①授業テーマ　現代のコーチに必要な能力とは② ②授業概要　第12回の授業で発表したコーチとして必要な能力について、実際に実行できている状況を共有し、更なるコーチとして必要な能力を挙げることができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。担当教員の実務経験を踏まえて、実例を紹介します。 ③予習（１２０分）　第12回の授業内で列挙されたコーチに必要な能力について、実施できいるコーチを本などで調べてくる。 ④復習（１２０分）　現代のコーチに必要な能力をまとめておく。 14 ①授業テーマ　良いコーチとは ②授業概要　これまでの授業内容を受け、理想的なコーチについてレポートにまとめることができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。フィードバックはレポート提出後、授業時間内に行います。 ③予習（１２０分）　これまでの授業内容をまとめ、良いコーチとは何かを考えてくる。 ④復習（１２０分）　レポート内容を踏まえ、コーチとして必要な能力をまとめておく。 15 ①授業テーマ　まとめ ②授業概要　コーチングに必要な能力や、その能力が欠如することでおきる課題をまとめることができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分）　これまでの授業内容をまとめておく。 ④復習（１２０分）　コーチとして必要な能力をまとめておく。
関連科目	コーチング統合演習Ⅱ（SSCS4602S）
教科書	特になし
参考書・参考URL	特になし
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 水曜日のお昼休みに研究室で対応します。 それ以外の時間でも結構です。事前に連絡してください。
研究比率	

